

- ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
- この取扱説明書は大切に保管してください。
- 組み立てる前に電源を入れないでください。
- 照明器具の取付け及び修理は、必ず電気工事店等の専門家にご依頼ください。

⚠警告

火災の恐れがあります。

- ・指定ワット数以上の電球は取り付けないでください。
(指定電球は器具に表示してある電球シールを確認してください)
- ・不安定な取り付けは禁止。
- ・可燃物をかぶせたり、近づけたりの使用は禁止。

⚠警告

やけどの恐れがあります。

- ・点灯中や消灯直後の電球には触れないでください。

不適当な取付けにより発生した故障や事故について、当社は責任を負いません。

14.3

ランプ : <キセノン球仕様>
キセノン球 12V-10W
※LED球は使用できません。

<LED球仕様>
LED球 12V-1.5W
※キセノン球は使用できません。

ソケット : G4

使用電圧: AC 100V

周波数 : 50Hz / 60Hz

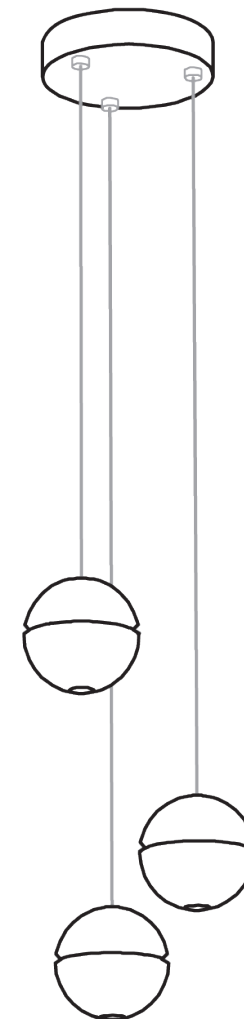
質量 : 約5.5kg

調光 : <キセノン球仕様>
販売店にご相談ください。

<LED球仕様>
調光不可

!重要!
※ランプはこの器具の専用球です。交換の際は販売店でご購入ください。

※キセノン球仕様とLED球仕様は互換性がありません。



14.3

Design by Omer Arbel
INSTALLATION INSTRUCTIONS

BOCCI

ボッチ 日本総代理店

studio NOI
スタジオノイ株式会社

107-0062 東京都港区南青山 2-18-2
竹中ツインビル B wing 2F
Tel. 03-5843-0260 Fax. 03-5843-0270
studio-noi.com

⚠ 注意

工事の際には必ず電源を切ってください。

⚠ 重要

作業にあたっては、シェードの中にある、電球を保護しているチューブを傷つけないよう、十分に気をつけてください。

< 1 >

同軸ケーブルを緩めるようにゆっくりと解いてください。同軸ケーブルは非常に繊細です。巻きに逆らって解くと、折り目が出来る可能性がありますので、十分に気をつけて解いてください。(図)

< 2 >

3 灯のペンダントの長さを決定してください。フランジ側の中央の穴のネジを六角レンチで緩めてから、同軸ケーブルをゆっくりと通して、望みの長さより少し長めに引っ張りあげてください。(図)
その際、同軸ケーブルを保護する為に、黒いプラスチックのプロテクションリングがありますので、このリングも引き上げて、この中央の穴にプッシュしてください。その後、六角レンチで同軸ケーブルをしっかりと固定してください。(図)

⚠ 重要

このプロテクションリングには1箇所スリットが開いています。このスリットの部分はネジの入る穴に対して90度になるように設定してください。ネジと同軸ケーブルが触るとショート恐れがあり、大変危険です。(図)

< 3 >

同軸ケーブルの長さに少し余裕を見て、カットし、ケーブルの先を剥いて、トランスから出ているコネクタに両方差し込んでしっかりと固定してください。この際、外側の網目になった外側のワイヤーが一方で、それ以外の内側の絶縁ワイヤーがもう一方になります。間違えるとショートの原因になります。グレーのコネクタにはオレンジのつまみがあります。このつまみを45度持ち上げると緩み、しっかりと下ろすと固定されます。

< 4 >

補助プレートを天井の照明取り付け位置にしっかりと取り付けて、1次側のケーブルを出しておいてください。(図)

< 5 >

同軸ケーブルがトランスに結線されたら、器具をペンダントと共に持ち上げながら、1次側の線をトランスに結線します。2人で作業することにより、作業が安全で、迅速に行えます。(図)

< 6 >

フランジボックスの中にトランスと余分の同軸ケーブルをきちんと納めてから、フランジを補助プレートにしっかりと留めつけます。(図)

< 7 >

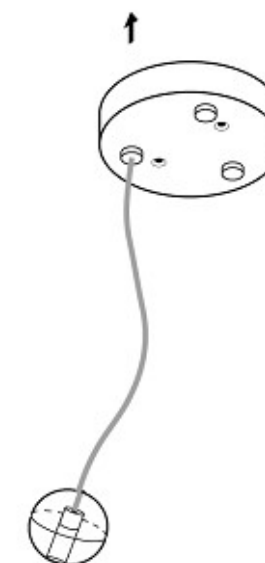
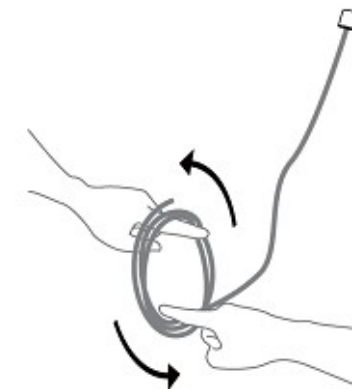
長さを確認します。長さの調節は、同軸ケーブルを固定したネジを緩めて、長い場合はフランジの中に押し込み、短い場合はフランジの中に余裕として残しておいた同軸ケーブルを引き出してください。
その際、1人がペンダントを持って行うようにしてください。その際もプロテクションリングのスリットがネジ穴と90度になっていることを確認してください。(図)

< 8 >

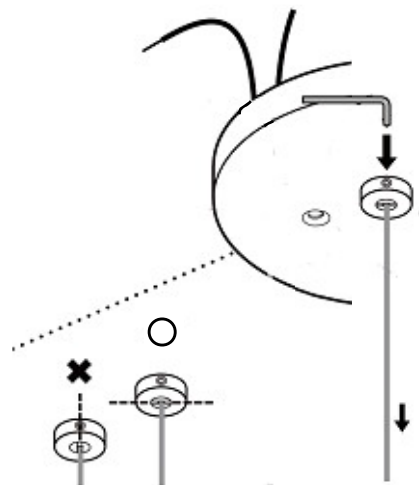
シェードを持ち上げて、口金を露出させ、電球をつけてください。電球には素手で触らないように、気をつけてください。(図)

■ 電球の取り替え方

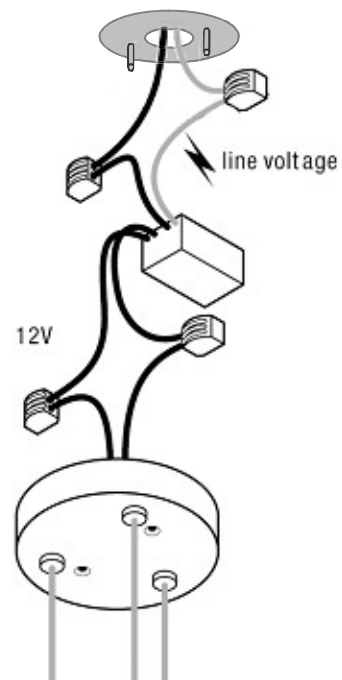
電源を切って、電球が完全に冷めてから行ってください。ガラスのシェードを持ち上げて、口金を露出させてください。古い電球を抜いて、新しい電球を差し込んでください。その際、電球には素手で触らないように、気をつけてください。



③



⑤

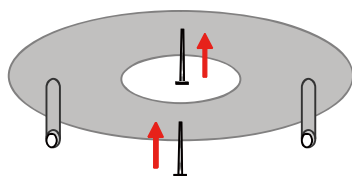


⑦



※トランスの電線は白黒（または茶青）が一次側です。

④



⑥

